

こども分野

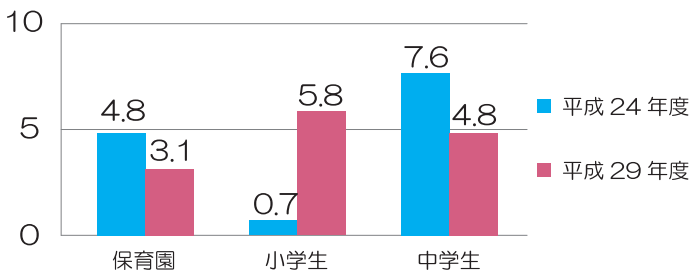
みんなでやろう

「早おき 早ね 朝ごはん
食べたら歯みがき」

現状

- ◆ 小学生（3年生以上）の朝食欠食者は、増加しています。
- ◆ 3歳児健診におけるむし歯保有率は、愛知県内で最も高いです。（平成28年度）
- ◆ 夜10時以降に寝る保育園児は、増加しています。

％ 朝食欠食者割合（保育園～中学生）



保育園・小学3年生以上・中学生「健康な生活のための調査」（平成29年度）

課題

- 健康づくりの基になる基本的な生活習慣「早おき 早ね 朝ごはん」を、こどもの頃にしっかりと身につけることができるように、また、むし歯予防の対策など、家庭、学校地域で協働して取り組むことが必要です。

取り組み内容

- ◆ “朝ごはんを食べる” “家族そろって食事をする” ことの啓発事業
- ◆ むし歯予防、歯周疾患予防など、歯の健康づくり事業
- ◆ “食への関心” を高める健康的な食生活づくり事業
- ◆ 良い睡眠と生活リズムを身につけるための事業

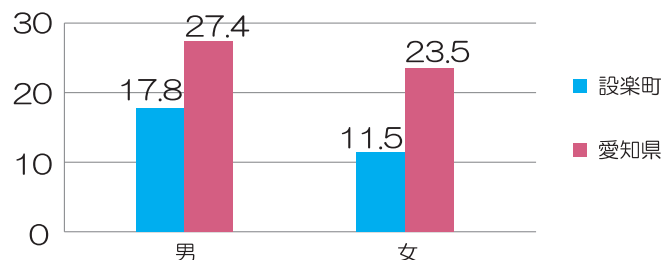
からだ分野

きちんと食べて 10分運動

現状

- ◆ 40歳代、50歳代の特定健診受診率が低くなっています。
- ◆ 特定健診の結果において、非肥満者の高血糖割合が高いです。
- ◆ 運動習慣者の割合が低いです。
- ◆ 男性20歳から60歳代の肥満者割合が高いです。

％ 男女別運動習慣者割合（20～64歳）



設楽町：設楽町生活習慣アンケート（平成29年度）
愛知県：愛知県生活習慣関連調査（平成28年度）

課題

- 特に働く世代に健診受診を呼びかけ、生活習慣病予防に対する意識の向上や、気軽に運動に取り組める環境づくりに対する取り組みが必要です。
- 糖尿病の予防対策の推進が必要です。

取り組み内容

- ◆ 働く世代の健診受診や保健指導へのアプローチを強化する事業
- ◆ 運動習慣の意識を高めるため、日々継続できる運動の普及や、職場などへの働きかけに対する事業
- ◆ 糖尿病予防など生活習慣病予防に関する事業
- ◆ たばこ対策の事業

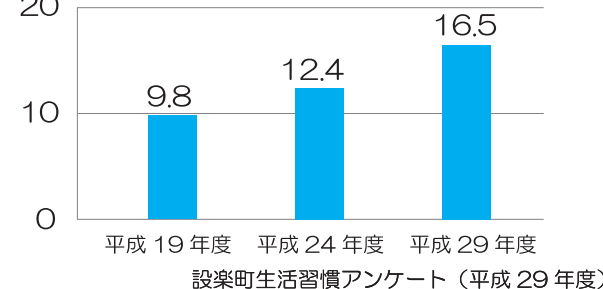
こころ分野

声を出そう 声をかけよう
身近なところ 小さな輪から
大きく広がる 心のつながり

現状

- ◆ 少子高齢化が進み、高齢者世帯が増加しています。
- ◆ 20歳から50歳代において、ストレスをおおいに感じている人が多いです。
- ◆ 睡眠時間が足りないと思う人が増加しています。

％ 睡眠時間が足りないと思う人（20～64歳）の割合



設楽町生活習慣アンケート（平成29年度）

課題

- こころの健康について関心を高めるため、学校や職場、地域での対策が必要です。
- “睡眠と健康” に対する理解と質の良い睡眠行動につながる取り組みが必要です。

取り組み内容

- ◆ こどもの生きる力やこころの健康への関心を高める事業
- ◆ 心配なこと、困っていることについて相談しやすい仕組みづくりに対する事業
- ◆ 睡眠に対する知識の普及啓発事業
- ◆ 地区および世代間で交流を深める事業